

中途障害者事業では社会生活力プログラムを提供しています。

【社会生活力プログラムとは】

利用者自身の出来ること（自立度）を高め、様々なサービスを活用して主体的、
自立的に、楽しく充実した生活を送ることができる力（社会生活力）の習得を
目標にしています。その獲得方法の1つが「社会生活力プログラム」になります。

【提供方法】

同じテーマをグループで話し合い、考えることで、今の自分を知り、テーマの内容を
学び、学んだことを実践できるようになります。

テーマは、「社会保障制度」「障害の理解」等、専門性の高いテーマから、「生活
リズム」「食生活」といった身近な物まで、20以上のテーマを用意しています。

職員は、ファシリテーター（進行役、発言サポート役、目的に導く誘導役）とな
り、利用者の考えや想いを引き出すことで、利用者の皆さんそれぞれの社会生活力を
高めていきます。

【参加者の声】

<障害理解>

自分の障害について、知らなかった部分を知ることができた。

<自分を知る>

互いの価値観の違いを知ることができた。

<外出・余暇>

他者の生活や余暇時間の活用方法を知ることができた。

<障害福祉サービスと介護保険サービス>

今後自分が使う可能性のあるサービスについて知ることができた。



障害者ICT相談窓口を開設しています

【ICTとは】

インターネットを活用して情報共有を実現する技術。

Information and Communication Technologyの略称。



【目的・相談内容】

◎障害のある方の意思疎通を支援します。

・視力が低下して文字が読みにくい、手が震えてパソコンのキーが打てない、タブレット
やアプリを使って気持ちを伝えたい、自分にはどの情報支援機器が合っているか知りたい
といった相談を受け付けています。

・意思疎通を助けるアプリやソフトの情報をご紹介します、センターの機器を体験利用出来
ます。

※センターに無い機器は、体験の方法をお伝えします。

・地域の支援団体と連携しながら、解決に向けて支援します。

お気軽にご相談ください

詳細はこちらから➡

相談窓口 中村橋福祉ケアセンター

電話：03-3926-7214（毎週水曜日9:00～17:00）

FAX：03-3926-7216（随時受付）メール：ict-nerima@bz04.plala.or.jp（随時受付）



ICT勉強会

職員のICTスキル向上のため、以下の研修会・勉強会に参加しました。

- ① 障害者のデジタル技術活用支援者養成研修（東京都障害者IT地域支援センター）
- ② 障害者ICTを活用したコミュニケーション研修（NPO法人ICT救助隊）
- ③ 指伝話アプリとアクセシビリティの勉強会
（有限会社オフィス結アジア・代表取締役 高橋宜盟氏）

こうした研修会・勉強会で当事者の視点や利用者ひとりひとりにカスタマイズできる
スイッチを使い、ICTを用いたコミュニケーションの有用性について学ぶことが
出来ました。こうした新たな発見を障害者ICT相談にも生かしていこうと思います。

看護師 丸茂晃平